

# 「自立支援に資するケアマネジメント支援」 ～地域ケア会議を通じたケアマネジャーの支援・育成～

兵庫県朝来市地域包括支援センター 主任ケアマネジャー足立里江

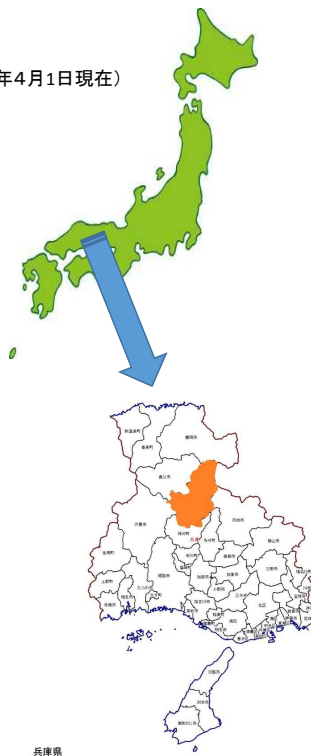
(写真:兵庫県朝来市 指定文化財 国指定史跡竹田城)

1

## 1 兵庫県朝来市の概況

(平成25年4月1日現在)

- 朝来市の人口 約33,000人
- 高齢化率 30.2%
- 要介護認定者 約2,000人
- 居宅介護支援事業所 9か所
  - ・ケアマネジャー 21名
  - ・主任ケアマネジャー 13名
- 地域包括支援センター
  - 直営1か所・委託1か所
  - ・主任ケアマネジャー 3名



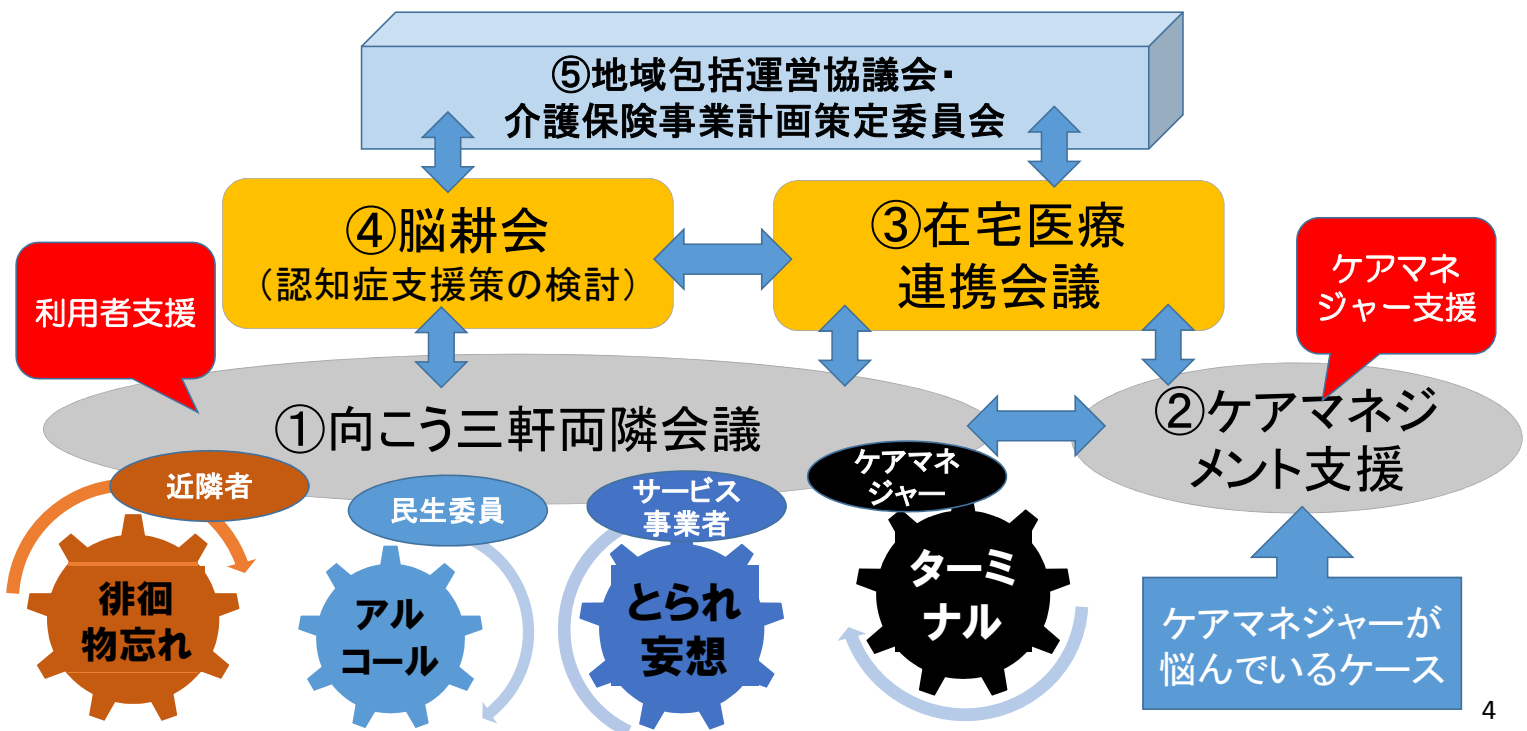
2009/09 月刊ケアマネジャー掲載写真

## 2 それぞれの地域ケア会議が果たす役割

会議名	内容	参集者	個別課題解決	ネットワーク構築機能	地域課題発見機能	地域づくり・資源開発機能	政策形成機能
①向こう三軒両隣会議	利用者支援	当事者・地域住民・関係機関等	◎対象者が抱える課題	◎フォーマルとインフォーマルの連携	○困難ケースの蓄積	◎自助・互助を育む	×
②ケアマネジメント支援会議	ケアマネジャー支援	主任ケアマネジャー13名	◎ケアマネジャーが抱える課題	◎主任ケアマネジャーとケアマネジャーの関係性	○困難ケースの蓄積	◎指導マニュアル開発等	×
③在宅医療連携会議	介護・医療の連携に関する仕組みづくり	医療・介護専門職(事業所代表者)25名	×	◎介護・医療のネットワーク	◎①②④の会議内容提出	◎連携マニュアル作成等	×
④脳耕会	認知症支援策の検討	関係機関代表者15名	×	△	◎①②③の会議内容提出	◎ドリル・ゲームの開発	◎見守り協定・オレンジプラン
⑤地域包括運営協議会・介護保険事業計画策定委員会	地域課題の検討	関係機関代表者15名	×	△	◎①～④の会議内容提出	◎	◎介護保険事業計画

3

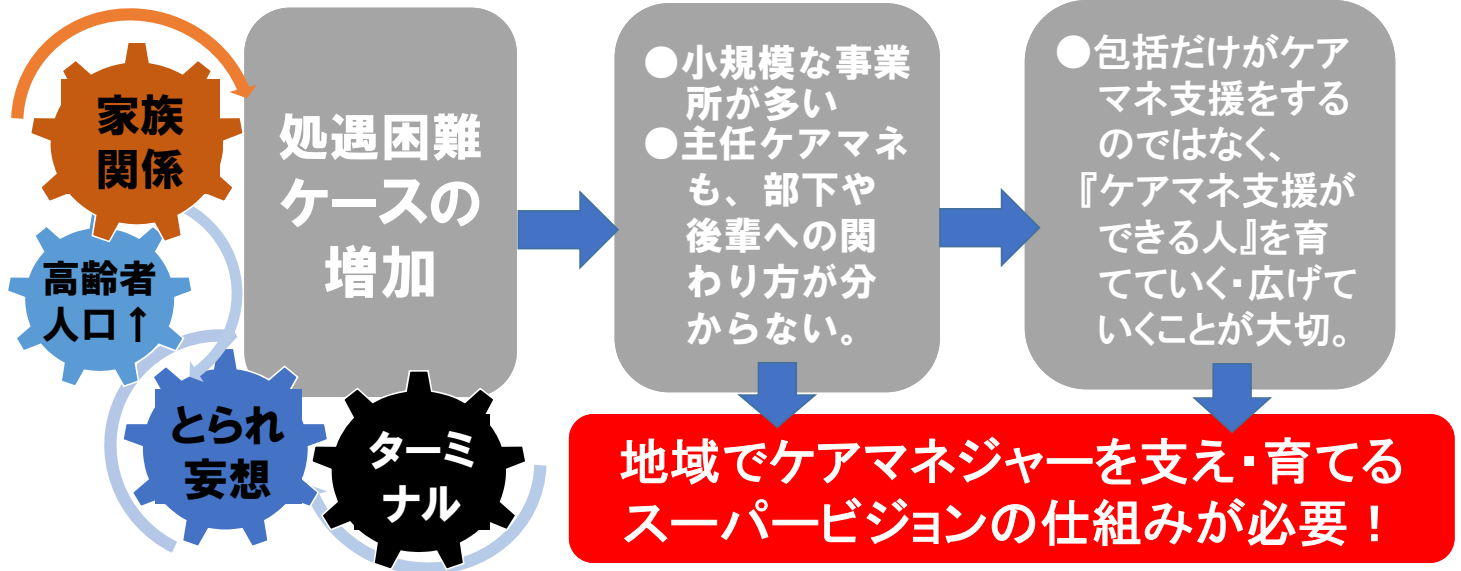
## 3 それぞれの地域ケア会議を組み合わせてデザインする



4

## 4 ケアマネジメント支援の必要性

平成18年度 市内ケアマネジャーから  
地域包括への相談件数 153件/年



5

## 5 スーパービジョンの土壌を耕す

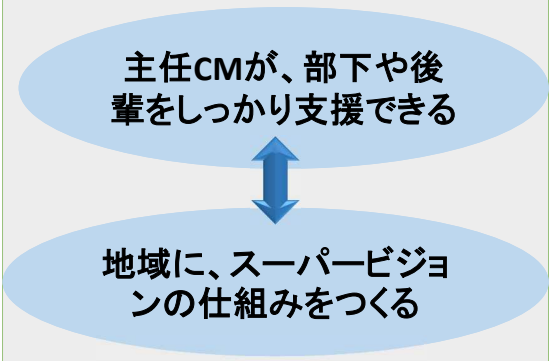


6



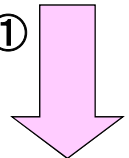
## 6 ケアマネジメント支援の仕組みづくり(包括と居宅の協働・連携)

**【目的】**  
一人ひとりのケアマネジャーが、「自立支援に資するケアマネジメント」を利用者に提供できる



**地域包括支援センター**

①



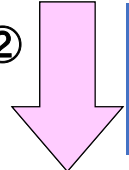
『カンファレンス方式ケアマネジメント支援』の実施

- ①アセスメント力
- ②部下や後輩へうまくかかわる力
- ③カンファレンスを運営する力

③

**居宅・主任ケアマネジャー13名**

②



事業所内で『カンファレンス方式ケアマネジメント支援』を実施

包括が各事業所を巡回し、主任CMが主催する『カンファレンス方式ケアマネジメント支援』をサポートする。

**●居宅介護支援事業所 9か所  
⇒ケアマネジャー 21名**

## 7 カンファレンス方式ケアマネジメント支援の方法

- 目的：① 主任ケアマネジャーの支援・育成
- ② ケアマネジャーの支援・育成
- ③ 主任CMとケアマネジャーのスーパービジョン関係構築

●方法：1事例1時間程度・カンファレンス方式

●事例選定：CMがケアプラン作成や支援に困難を感じている事例

●ルール：「批判や時期尚早の意見・アドバイスは慎む」「担当ケアマネジャーの思考の流れに沿った質問を投げかける」等、「気づきの事例検討会」のルールを参照し、スーパービジョンの要素を含むカンファレンスとした



**●「カンファレンス方式ケアマネジメント支援」のメリット**

- ①支持的な雰囲気の中でこそ、ケアマネジャーが、自分のアセスメントやケアプランの内容を見直し、修正することを受け入れられる。
- ②多少の時間や手間はかかっても、真の自立支援につながる検討ができる。
- ③それは、参加しているケアマネジャーにとっても“学びの場”となり、また、日常的に主任CMとケアマネジャーが話せる関係づくりにつながる。



## 8 ケアマネジメント支援に資するケース分析

●分析対象・・・21事例の検討内容

●分析方法・・・①基本情報  
②検討内容の整理  
③ケアマネジャーの気づき

●検討内容は5項目で整理

- ①問題の特徴
- ②問題対処力
- ③システムとの関係
- ④資源
- ⑤意欲

※身体機能を重視した検討は全体の38%のみ

### 1. 5項目の検討度合いの比較

「問題対処力」と「システムとの関係」に着目した検討内容が多い

### 2. 問題の特徴による検討内容の違い

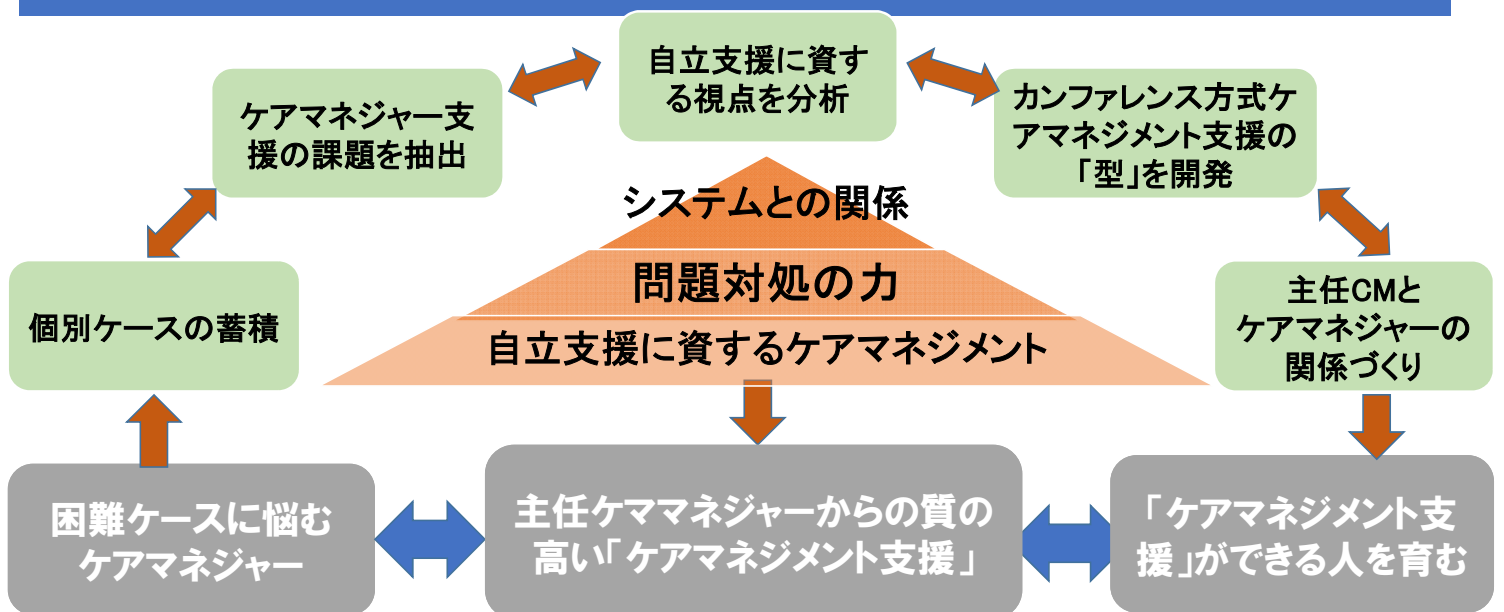
脳卒中・骨折等の事例	認知症や意欲喪失の事例
身体機能の検討が多い	「問題対処力」や「システムとの関係」の検討が多い

### 3. ケアマネジャーの「新たな気づき」

「本人・家族の問題対処の力」に気づいた事例が17件(81%)あった。

9

## 9 『カンファレンス方式ケアマネジメント支援』の効果



ケアマネジャー個人の課題⇒ケアマネジメント全体の課題へ転換  
⇒支援・育成の視点整理⇒更なる『ケアマネジメント支援』へ

10